

議会基本条例推進特別委員会広報・公聴分科会 会議録

開催年月日	平成28年1月15日（第11回）			
開催の場所	湖西市役所 委員会室			
開閉会時刻 並びに宣告	開 会	午前9時57分	分 科 会 長	中村 博行
	閉 会	午前11時19分	分 科 会 長	中村 博行
出席並びに 欠席議員 出席 8名 欠席 1名 〔凡例〕 ○は出席を示す ▲は欠席を示す	氏 名	出欠	氏 名	出欠
	高柳 達弥	○	牧野 考二	○
	加藤 弘己	▲	中村 博行	○
	竹内 祐子	○	神谷 里枝	○
	豊田 一仁	○		
	島田 正次	○		
	馬場 衛	○		
説明のため 出席した者の 職・氏名				
職務のため 出席した者の 職・氏名	局 長	松本 裕行	次 長	尾崎 修
	書 記	三浦 梨紗		
会議に付した事件	別 紙 の と お り			
会議の経過	別 紙 の と お り			

議会基本条例推進特別委員会広報・公聴分科会会議録

平成 2 8 年 1 月 1 5 日 (金)

湖西市役所 委員会室

湖西市議会

〔午前9時57分 開会〕

○中村分科会長 それでは、ただいまから基本条例推進特別委員会広報・公聴分科会を始めたいと思います。よろしくをお願いします。

なお、本日は加藤委員から欠席の申し出がありましたのでその旨ご報告いたします。

それでは、議会報告会のまとめについて、前回までに修正したものは事前にメール送信してありますのでご確認いただいていると思いますが、何か問題がありましたら改めてみんなでここでもんでいこうという形にしたいと思います。

それで、差し当たりすぐ問題だよということで出されたのが修正案ということで別紙で出てますが、12ページの一番上のところで、市民会館停止から2年後に白紙撤回という責任の話で、これを修正案という形で直してほしいという形で出ております。これについてはどういうふうに計らいましょうかということなんですが、修正案をそのまま皆さんの了承があれば、載せていきたいとも思うんですが、島田委員。

○島田委員 これ、どこから出てきたわけ、修正しろって。

○中村分科会長 修正は竹内委員のほうから一応出てきたもんですから、その背景を一応それでは竹内委員、済みません、どんな形からこれを直そうという背景になったか、その辺の説明を済みませんけどお願いします。

○竹内委員 皆さんに最初に行きました12ページのところの、貴重な意見として受けとめる。使用停止後3回建築協会へというこの建築協会というところなんですが、ここは建築協会ではなくて今度修正案のほうに出しました評定委員会に、評定委員会のほうで耐震補強計画の許可が得られなかったということだったものですから、その建築協会という言葉をやはり使わずに、評定委員会とという言葉に直したいというところを出しました。

それで、こちらの修正案のようにちょっと言葉をかえてあるんですが、市民会館を使用停止後、評定委員会に耐震補強計画を提出していましたが許可が得られなかったということを知りやすく最初に入れて、設計費の繰越明許費を私たちが承認しましたよという一行にしました。

その後、3回の耐震補強計画を提出しましたが、その後も許可は得られなかったため、その得られなかった理由が30億、28億というような経費がかかることから、計画は白紙撤回されましたという補足説明を次に入れてあります。

ですので、ここの修正案の一番のポイントは、建築協会という言葉を出さずに評定委員会という言葉に変えたいということです。よろしくをお願いします。

○中村分科会長 貴重な意見として受けとめるというやつを外されたのはどういうところからですか。

○竹内委員 ここのところは以前も豊田委員もおっしゃっていただきましたけれども、あの場面のときにしっかりと、このとき神谷委員が答弁をされていまして、議会もしっかり議決した責任があるということは、そのこのところでお話をしてました。ですので、この問いに対しての答えの仕方、繰越明許費を承認しました、だけれどもここは最終的に経費がたくさんかかることによって白紙撤回したという説明文をしておりますので、しっかりとここの部分でこの回答をしているということで、ここの貴重な意見として受けとめるという文言は外させていただきました。以上です。

○中村分科会長 という内容です。

では、休憩します。

午前10時03分 休憩

午前10時10分 再開

○中村分科会長 では休憩を解いて、今の修正案について、竹内委員のほうからその内容を言ってもらえますか。

○竹内委員 会場での意見のやりとりのところをより忠実にするために、申しわけありませんが、ただいま修正案を出しましたけれども、修正案のところの冒頭に、貴重な意見として受けとめるという文言を入れさせていただいて、市民会館を使用停止後、評定委員会に耐震補強計画を提出していたが許可が得られないことから、設計費の繰越明許

費を承認した。そして、3回の耐震補強計画を提出したが、その後も許可を得られず、最終的改善案としてホールのみ建てかえ30億、補強工事でも28億円かかることから、計画は白紙撤回されたという答弁に変えていただきたいと思っております。お願いいたします。

○中村分科会長 という話ですが、それで皆さん、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○中村分科会長 では、次のもう一問出てますので、もう一問。市民会館停止中だが、県や西部地域持ち回りの会合や文化面での会場が提供できず困ったことはないかという部分のところですが、背景をお願いします。

○竹内委員 このことについては楠委員が担当だったのですが、最初楠委員は、今のところそのような報告はないというように答えていらっやいました。それでここの12ページのほうの市民の皆様が催しの会場確保に困っていると聞いているということを答えていただいたのは豊田委員のほうからで、これは確かに、ちょっと保護司会、県の保護司会の大会がありまして、本当に心配はしていたことです。しかし何とかやれたものですから、そのことが先に市民の皆様が催しの会場に困っていると聞いている、皆様の理解と協力で何とか運営しているというふうには、この答弁になってはいますが、本来その部分を忠実に再現するとなれば、楠委員の答えも入れていかないといけないので、修正案のところの、今のところそのような報告はないがというふうには、そこを追加させていただきました。よろしくお願ひいたします。

○中村分科会長 という話ですが、皆さん、どんな御意見でしょうか。

内容的にここの点で言うと、ちょっと報告はないが聞いているという、報告ということと聞くということがどういうふうには。何かつけ足した意味がちょっと読み取れんような感じもするんですが、私はこの行政から今のところ報告はないがというふうにしたほうがいいのかという感じはしますが、その辺はどうでしょうかね。変えんでもいいかね。通じる。島田委員。

○島田委員 私はこれでいいと思いますけどね。余りごちゃごちゃ入れちゃうと、なまじわかんなくなるじゃないかなと思います。

○中村分科会長 豊田委員。

○豊田委員 今のお話の中で、分科会長御指摘のとおり、当局からの報告はないがということになるんですけども、もっとあっさり簡潔にまとめようとするのであれば、後段の市民の皆様が催しの会場確保に困っていると聞いているという、この聞いているという言葉が承知していると。市民の皆様が会場確保に困っていることは承知しているというふうにはまとめれば、いわゆる意味をかえずに表現としては納まるかなと思いました。

○中村分科会長 ということは、この修正案のほうの今のところそのような報告はないがというやつが入るか入らないか。

○豊田委員 それはそのままです。

○中村分科会長 そのままで。ということだそうですが、承知しているがでいいでしょうか。

ということで、今のところそのような報告はないが、市民の皆様が催しの会場確保に困っていると承知しているという形でいいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○中村分科会長 どうぞ、事務局。

○事務局 ただいまの豊田委員のお話のまとめの部分でもう一度確認をさせていただきたいと思っておりますが、ちょっと読ませていただきます。

今のところそのような報告はないが、市民の皆様が催しの会場確保に困っていることは承知している。会長のほうが、と、ということでありましたので、ここのところは、後段の、会場確保に困っていることは承知している。そのような理解でよろしいでしょうか。

○中村分科会長 豊田委員、いいですか。

○豊田委員 私は、今の局長の説明のとおりでお願いしたいと思います。

○中村分科会長 ではそういうふうに、済みません、お願いします。

書面が出されている修正案は以上の2つですが、ほかに皆さんのほうでこれを見てもらって、何か訂正したほうがいいのかという部分があったら、ひとつお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○中村分科会長 よろしければこれを特別委員会のほうに結論として出していききたいと思います。

そういうことで、ではこの内容で今ここで提案された内容を修正して、きょう午後からの特別委員会のほうに分科会のまとめとして出していきますので、ひとつよろしくをお願いします。

それともう一つ、この前の委員会の中で、議会だよりに載せていくという部分を前もってお願いした部分のものが皆さんのところに配られておりますが、こんな形で一応議会だよりのほうには載せていきたく思うんですが、よろしいでしょうかという話なんです。内容をちょっと見てもらって、何か問題があるようなら直していきたく思います。一応こういう形で議会だよりのほうには載せてもらうような段取りをしています。島田委員。

○島田委員 いいですけど、議会だより委員会というの、あそこでもう決めてくれたら、これを。違うのか。

○中村分科会長 案をつくってくれたけど、最終的には分科会で、なおかつ特別委員会でも承認しなくてはいかん話だもんで、そういうことで一応つくってくれたけど、これでいいですかという話です。

○島田委員 おらもう決まってるかと思った、議会だよりで。はい、わかりました。

○中村分科会長 いいですか。ではこんな形で、これも一応特別委員会の中でこういう形で上げましたということの報告をいたします。

ということで、この議会報告会のまとめということは一応我々の分科会としてはこんな形で特別委員会のほうに提出させていただきます。よろしくをお願いします。

それとその次ですが、議会報告会の反省という部分に次移っていきたく思うんですが、議会基本条例では年1回、議会報告会を開催するというふうなことになっておりますが、やってみて、議会報告会自体をどういうふうに、続けたほうがいいのか、また何か直す点があるというのか。大きく言って、こういう報告会をやる必要があるかないか、まずは。どんなふうにご覧されるか。ちょっと皆さんの意見を聞きたいと思うんですけど。一応基本条例ではそういう形になってると。やってみただけど、その報告会なんて要らんよというなら、条例を直すような方向にも考えていかなくてはいかんと思うんですけど、皆さんが必要であればいいんですけど、やってみてどうだったかということもまず聞きたいなというふうに思うんですが。島田委員。

○島田委員 これ、勝手にやめるといふわけにいかんだろう。条例を変えないかんだもんで。

○中村分科会長 そうそう。

○島田委員 そうだろう。それだもんで皆さんに聞いてもらおうといいけど、僕の反省としては、余りにも少ないもんで絞る、場所を。そんなこと言っただけで、田舎の新所は要らんとか、どこかと、前に、そんな豊田委員もおって悪いけど、入出も少なかったし、そうだもんで北部へ一緒にするとか、それでこことおぼと。今5つ。俺は3つぐらいでいいと思いますけど。そのほうが、結構行く人は車でも行くと思うんだよね、しゃべりたい人は。以上です。

○中村分科会長 豊田委員。

○豊田委員 今島田委員から出たような考え方も一つあると思います。逆に、いわゆる市内全域を対象にした報告会というのを1回どこかでやって、あとそれ以外にもっと少人数で、例えば議員が3人か4人で1チームつくって、たくさんの方の数もあるというような形のものも方法としてはあるのではないかなと。だからその少人数で行くところについては、報告内容はあっさりしたものにしてしまっただけで、懇談会みたいな形で意見交換をするような場を幾つか設け

ていくという方法はどうかという気がしておるんですけどね。

○中村分科会長 馬場委員。

○馬場委員長 議会報告会自体はそれは条例でもあるもので、今豊田委員言われたように年1回はどんな、形はいろいろあろうと思いますんで、大きなところでやるか。今までの過去3回の議会報告会を見たときに、やはり意見、意識を持つてる人は出てくるんです。そういった貴重な人たちの意見をどこかで聞く場所というのにも必要なものですから、今までのやり方を少し考え直して、ことしは新居地区でやろうとか、ことしは鷲津地区でやろうとか、分散してもいいと思うんですけど。

あとはやはりあれだけの議員が構えてると、入りにくいですよ。しょっちゅう意見を言う、持つてる人は別にどうってことないですけど、あれの中でなかなか意見を言うというのは大変だと。アンケートの中にもありましたけど。だから座談会形式というか、そういった方向で、数人の議員さんが、一人書記をもっていただいて、記録係。それこそ自治会単位ぐらいで。言えば20人や30人、結構集まってくるんですよ。それを市内何カ所かにやると。必ず全自治会をその年にやっってしまうというのではなくて、ことしはどの地域を中心にとかやればもっと身近な答えも出てくるのではないかなというふうに思います。そのやり方の検討は必要かなというふうに感じました。

○中村分科会長 島田委員。

○島田委員 豊田委員言われたのはいいけど、3人ぐらいで行くじゃんね。軽く行くに、すごい問題が出てきた場合に、下手に答えれんもんで困る場合もあるじゃないかな。軽くなればいいよ。軽くって、座談会式にやるだったらいいけど、もし何か問題ががんがん来たら、どういう対処すればいいか。私の場合はきついもんで、がんと言っちゃって終わっちゃうかもわからんけど、それ困ることもあるじゃないですかね。そういう想定も考えないと。

○中村分科会長 豊田委員。

○豊田委員 いろんな考え方、やり方があると思うんで、今まで我々がやってきたのが、議会としてどう動くか、議会としてどう答えるかというのを念頭に置いてやってきてるもんで、非常に、いやこれ俺こう考えるけど、ちょっと議会の確認とれとらんでちょっとしゃべったらまずいなみたいなのは、いっぱいあったと思うんですよ。けど、割り切っちゃって、この場では、議会ではまだ問題になってませんけども、私個人はこう考えてますよとかいうようなスタンスの意見交換というのが積み重ねられていくのも一つのあり方としてはおもしろいのではないかな。余計に来てくださいる方も、生の声が聞けておもしろかったとかということになっていくのではないかな。今の状態だと、さっき馬場委員からもあったみたいに、みんながわあっと、しゃべりにくいなのはあるだろうし、何だ通り一辺の答えしか返ってこんなみたいなことも懸念されるしというところで、さっき言ったような形を考えてみたんですけどね。

○中村分科会長 島田委員。

○島田委員 それならそういう、まあ、私の意見で議会じゃなくてという、そういう言い方すれば逃げれると思うんだよね。何かすごい問題が出てきて困るなと思うといかんかなと思って。まあ豊田委員言われたみたいに、そういうやり方も一つあるじゃないですかね。軽く流しちゃう。それで馬場委員言ったみたい、やはりあれだけ大勢いると、言える人は、ずうずうしい人は言えるけど、普通の人でなかなか言えんと思うよ。

○中村分科会長 話の途中で悪いんですが、それではそういったものは必要だと。そういう意見交換会なりなんなり、報告会という形をとって、市民の皆さんといろいろ話をすることは必要だということ。条例にあるもので、それは必要だということでもいいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○中村分科会長 その上の話で行くという話で、前提を。それで、今言う話の会場の問題、その場所の問題もあるんだけど、その人数的な問題、そういうふうなことの問題もまだあるし、今回は一応前回よりも参加人数をふやしたいということでテーマを決めて5分間でいろんな委員会のそれぞれのことを述べて、みんなで意見をもらったわけなん

だけども、その辺のテーマを決めて話すということについては、どんなふうに皆さん、やった結果としては、考えているとか、どういうふうに思っている、反省の面としてはどんなふうなことがあるのか。我々、5分間の短い時間でいろいろ説明して、皆さんにわかってもらいたいという形で一応持っていったんだけど、その辺の反省というものはどんなふうに。何かありますか。島田委員。

○島田委員 私は、今回はよくなかったと思います。それを变えるのも、変えて来年はやってたほうがいいと思います。

○中村分科会長 どういう点でよくなかった。

○島田委員 よくないとか、何か雰囲気違ったんだよね。雰囲気。どうやって言ったらいいのかな。ちょっとわからん。よく考えますわ。

○中村分科会長 竹内委員。

○竹内委員 私は、今回各委員会でテーマを決めてやったのはよかったなと思ったんです。やはりこういうテーマでやるからというのでそれを聞きたくて来た人もいただろうし、委員会としてもその部分についてしっかり勉強もできたから、よかったのかなと思うんです。

ただ、今まで、今までというか過去2回のときに、予算でやってきましたね。そうすると行政が説明することを何で議会がやらなくてはいかんとかというような意見もいただいていたもんだから、例えば今回、例えば5月にまたやるとしますね。そうすると予算のことを説明するとなれば、委員会で今度自分たちこの予算確保というか、そのもの事業についてのすごい支援をしたいがために自分たちはこういう予算のものについていろいろ議論したんだよというような、議会が頑張ったという報告をすれば、市民はすごく、議会さん頑張ってますねというふうに思われると思うんです。ですから、この議会報告会というのは、あくまでも私たちがどれだけ皆さんのやはり福祉向上のために頑張ってるかということ伝えるための報告会だと思うので、そういうように向けていったらどうかなと思います。

○中村分科会長 島田委員。

○島田委員 わかりました。今竹内委員言ったその委員会というのはいいけど、何か僕の感じとしては、議員が全部統一してない。こっちの人はこう、こっちの人はこういうふうに感じました。それはまずいじゃないかなと思った。場所も、前にはなるだけ顔を出すためにいろんなところへ行くと言われたもんで、俺は新居じゃなくてほかでもいいと思ったわけね。そしたらたまたま新居のとき全部が新居の人になっちゃったじゃん。ああいうのも前の言ってることと今回違ったなと思うもんで、余りよくなかったなと思いますけど。それは僕の感じですよ。皆さんどう捉えたか知らないけど。以上です。

○中村分科会長 馬場委員。

○馬場委員長 今回、全体的な方法というのは少し新しい、時期が違うということで、試みで、委員会の発表も短く。ただ、こちらの意図する部分、この報告会でこうやってやりたいという部分と市民の考えてる部分との、ちょっとマッチングが少しずれがあったという。確かに時間を割いて意見を聞く時間をとった、あれはよかったなと思うし、だから委員会で報告したことに際してもうちょっと、せつかく短く集約してテーマ絞ってやったんだからという、そういう答えが割かし少なかったんですね。議会の意図する部分と市民から吸い上げたい部分はちょっとマッチングしてなかったかなというところもあるもんで、その辺のところについてはなかなか地域で自分の考えだけあつと割かし言っちゃう人がいるもんで、それはそれで意見交換の中で聞けたというのはいいと思うんですけどね。少しまた内容的なものも検討するには必要かなと思いますけど。今回は今の島田委員言われたように、できるだけ地域の顔を出そうかなという話もあったもんで、これがだめならだめでまた変えればいい話だもんですから。私はそういうふうに感じました。

○中村分科会長 私はちょっとね、ある人から言われたんだけど、5分やそこらで説明されて、すぐ質問せよといっても、我々は何を質問していいかわからんという声在实际あったのは事実です。それでなまじか前もって自治会か

ら出してもらったものを、議会としての考え方を聞いたほうが、いろいろ話のやりとりもできるじゃないかという声もありました。その辺ができレースといえればできレースになってしまうかもわからなれど、どう考えるかという問題で、そういったテーマをお互いに共通認識で話し合えるなら、そういう問題を出してもらうのも一つは方法かなというふうには思いますが、一応そういう声もあったということを知りたいです。高柳委員。

○高柳委員 反省ですが、やはり報告会で報告することと、皆さんに聞くことと、両方それぞれやっただけですが、両方とも何か中途半端に終わってしまったみたいなもので、報告するだったら報告会ということで、全部いろんなもうちょっといろんなことをそれぞれで報告するような形にして、意見を聞くというのはまた意見を聞くような、先ほど言ったような、ある程度範囲を絞った中で、車座とか何かでいろいろ意見交換とか懇談会というような形で、二本立てということで、報告会は1回やっちゃって、あと絞って、意見を聞くような懇談会のような形でやったほうがと思うんですけど、何か両方中途半端、時間が限られておいて中途半端だったなとそんなふう感じております。

○中村分科会長 神谷委員は何か。

○島田委員 それは豊田委員が言われるみたい、ああいう感じが一番いいということでしょう。私もそう思いますけどね。私はもう減らそうと思ってたけど、1カ所やっておいて、そういうふうに懇親会、3人ぐらいで行って、それがいいと思いますけどね。私はですよ。

○中村分科会長 神谷委員はどんな。何か反省はありますか。

○神谷委員 特段ありませんけども、先ほど竹内委員が言われましたように、過去2回と今回は方式を変えてやってみて、いろんな意見も出てきました。答え、中途半端に終わってるという部分、それから議員がどこまで責任を持って発言できるかということにおいては、やはり今回のようにテーマを設けて、これについて報告をします。前もって広報してるわけですから、それに関心のある市民の方が参加してくださって、ある程度人数が少なくても新居でありましたように、もともとのああいう問題があるなんて私たちもあの場で初めて情報を得たわけですので、余り参加人数の多い少ないに惑わされずに、市民の本音とかそういった考えを自分たちとしては公聴できたということで、私は成果がよかったのではないかなと思います。

それとある意味、逆に自分たちの委員会の所管事務の中でも、ある程度こういった報告をしますということ以外で出た質問に対しても、従来の定例会等を通した自分たちの活動の中である程度意識を持っていれば答えられたようなことも、ちょっと的を得た答えではないとかというようなこともありました。そういったことも、これ重ねていくことによって、自分たちが常日ごろの活動の中で今話題の問題についてはちょっと意識を持って市民の前に出ていかないといけないという自覚、そして資質も高まっていくのではないかなと思っていますので、私はまずは過去2回とは変わった形でやって、参加人数は確かに少なかったです。本当はもっとワークショップとかミニサークル的にやったほうがいろいろ意見は出てくるというのは間違いないと思っています。いかに、変な言い方ですけども、余り自分たちへの負荷をかけずに、いかに広報・公聴に努めるかということでは、まだまだいろんな調査研究が必要な段階ではないかなと思っています。

先日、田原市議会さんのほうにもお邪魔してきましたけども、どこも同じ悩みを抱えているというのが事実でありますので、いろいろ情報収集して、よりいい報告会、議会活動、やっていったらいいのではないかなと思っています。以上です。

○中村分科会長 今の話で行っても、少人数でもっといろんな話を聞けるようにやったらどうだというような意見だったと思うんですが、そういうふうには少人数でそういった意見交換会みたいな形で進めるという形で考えていくというふうなことが、二、三の方から出てますけども、そういう形の進め方を提言していったほうがいいでしょうか。毎回減ってる。豊田委員。

○豊田委員 これは今、ことしの議会報告会の反省という中で出てきてますけども、公聴という部分もやはり含まれてきてる問題だと思います。報告をする部分と、皆さんの生の声を聞くという。だからその考え方を分けておいたほ

うがいいのかなと思いつつ、とりあえず今の場の皆さんの雰囲気としてはそちらの方向に今の考え方が動いてますので、今のうちの分科会の一つの方向性としての位置づけとしてはそんな形になるのかなと思います。

○中村分科会長 それでまあ、ではそういう少人数で行きたいねという形で進めていったらどうかというふうなことの方向性を一応皆さんで確認したという形でいいでしょうかね。

○豊田委員 くどくなりますけど、やはり二本立てになると思うんです。報告会という形をとる、主として議会側から情報提供なり活動報告なりをする場という、それはそれできちっと。1カ所がいいのか、3カ所がいいのかはこれからの検討課題ですけど、やりながら、あと報告と公聴というもの。公聴のほうに重点を置いた意見交換。

○中村分科会長 報告をするものと聞くものと。

○豊田委員 ちょっと分けて考える必要があるんじゃないでしょうか。一緒にやろうとするとどうしても無理が出かねないかなというところですよ。

○島田委員 聞くほうが少数ということでしょう、生の声を。それで1カ所で報告会という形という。いいと思いますけど。全部じゃなくてもね。

○中村分科会長 ではそういう形の、報告をするものと聞くもの、意見を皆さんからもらうものという形でテーマを決めずに聞くものという部分と、議会としてはこんな方向だよという報告会と、2つに分けてやるという形の報告でいいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○中村分科会長 何か皆さん、意見があるようならどうぞ。

○事務局 御参考に皆さん既に頭の中に入ってると思うんですが、議会基本条例の第8条の議会報告会のところ、一度朗読をさせていただきます。

第8条。議会は、市政に関する広範な情報提供及び市民との意見交換の場として議会報告会を開催しますという条文になっておりますので、この辺をまた踏まえて御検討をということで、ちょっと情報提供というんですか、させていただきます。以上でございます。

○中村分科会長 という事務局からの情報提供ですが。馬場委員。

○馬場委員長 今回の報告会の反省にたつて、今皆さんから意見を出していただいて、今後の進め方としては、基本的には今条例にもあるように、一回は市内何カ所かで、その方向についてはまた検討していいと思いますけど実施しよう。そのほかに、今までのやり方だとちょっと、もうちょっと生の声を聞く場を簡単にというか、座談会方式でやれるところをその報告会の中に一つとして組み入れていくという、その部分が少し負担になるかもわかりませんが、1年間通じた中で、今まで5会場やってたのを、大きい報告会としては2会場ぐらいにして、あとの3会場分についてはそれをもうちょっと膨らませてもいいですけど、座談会方式で少し議会のほうも報告しながら意見も聞ける場をつくるというふうなことを広報と少し研究して、このあとまたどんな形で進めてどうなるかわかりませんが、何かそういう方法でやったほうが、報告もできるし、議会のことも知ってもらえるし、意見も聞けるというふうな形になってくると思いますので、今ここで決定するのではなく、意見として皆さんで出していただいて、それを集約してまた進めるというふうな方向でいけばいいかなというふうに思いますけどね。以上です。

○中村分科会長 竹内委員。

○竹内委員 私も議会報告会という大きなものは2会場なら2会場にして、そうすれば来てくださる市民の方も、もう2会場でしか報告会はないと思えば、自分でちゃんと選んで来てくれると思うんですね。その下に、各、例えば5会場、ほかにミニのそういうワークショップを開きますよというのを下を書いておけば、またその中のところに足を運びたいという人はそこにも行くと思うんです。ですので、このメインの報告会は全般的なことをやるけれども、例えばミニのほうは例えば皆さんの意見というか、そういうお考えを聞きたいですよという御気軽に来てくださいよというふうに分けてやれば、足を運ぶ人も自分で自分の行きたい会場を選べるのではないかなと思います。

○中村分科会長 馬場委員。

○馬場委員長 それと、先ほど神谷委員言われたように、人数関係ないですよ。要は少数意見でもこういう考え持っているというのが我々として生で聞けるというのが一番重要なことだと思いますので、そういったことでやはり人が多い分には越したことはないんですけど、余り人数こだわる必要ないかな。市民の、参加者が少ないというふうにな、確かに多いほうが一番いいとは思うんだけど、なかなかそこは求めても難しいと思いますので、そのこともひとつ考えてもいいかなと思います。

○中村分科会長 島田委員。

○島田委員 馬場委員から皆さんの御意見はごもっともです。ただ、来る人がいますよね。来る人で同じようなことばかり毎年言ってる人らいるわけ。ああいうの一番怒れちゃう、自分じゃあ市議員になれと言いたくなるよ。余分なところで突っついたり、いろんなところへ。ああいうのどうにかしてほしい、竹内委員に。本当に怒れちゃうときあるよ。電話もあるしね。俺は取りつがんとんでいいけど、いろんな議員のどこへも電話あるみたいだけでも、勘違いしちゃってる人ら大勢過ぎる。まあ五、六人だけだね、湖西は。以上です。

○中村分科会長 ということで、そのほか意見はありますか。どうですかね。ということになると、報告会を会場は2つぐらいにして、あとワークショップというか、皆さんを交えていろいろ小さなグループで座談会というのか、そういう形で3会場ぐらいでどうかという形の話が出てますが、そういう形で皆さんどうでしょう。豊田委員。

○豊田委員 会場数については、私はふやしてもいいと思うんですね。確かに今みたいな形で全員参加しましょうね、議会側が全員参加しましょうねという、正直、負担大きいです。だけど、人数絞り込んで、一人当たりの労力、労力というか、回数を減らすような形で行けば、例えば1カ所4人ぐらいの班分け、ちょっと端数が出るかもしれませんが、それを2会場受け持つような班分けをすれば、それだけで何会場かまたふやすことができるわけですから。要は小さくなくてもいいんだから、我々が足を運ぶよというスタンスを持って検討していけたらいいんじゃないかなと思います。

○中村分科会長 島田委員。

○島田委員 豊田委員が言われたみたいに、そうやってやるならいいけど、ことし、去年もそうだったけど、全員、用がなければ全員参加とか、そうするとすごい負担になっちゃうんだよね、そのときに。荻野委員みたい、人の名前出して……、徹底的に来んという人もいいけど、ほとんどほかの人らは出なくてはいかんという頭で出たもんで、負担になると思うもんで、なまじ3人なら3人で、2回なら2回、ほかの人は出てこなくてもいいですよとやったほうが、皆さん大変じゃない。いいじゃないかね。なまじそれならそれでわかるじゃん。じゃあ俺も今度出ていかなくてもいいってはっきりできるもんで、そのほうがいいと思います。以上です。

○中村分科会長 馬場委員。

○馬場委員長 方法については、今決定する必要はないもんですから、きょうの反省の中に、これから28年度についてどういうふうにするかということ、一つの参考にしていただいてやっていけばいいかな。主体となるのはやはり広報・公聴分科会になってくると思いますので、特別委員会のほうはその中で皆さんに諮って、ことしの方向性をある程度御意見いただいて、広報・公聴分科会のほうで進めるような形をとってもらおうというような形になってこようかと思えますし、また大きいことと言えば、そういったことしで人の入れかえするのかわからないのかというのも、また一つの検討になってくると思いますので、その辺についてはまた分科会長、また議長と相談しながら進めていきたいというふうに考えてますけども。きょうは分科会の分科会長のほうから報告があると思いますけど、そういった形でぜひお願いしたいなと思っております。

○中村分科会長 最初の話題に戻すと、テーマについてはよかったという話もあるし、テーマを決めたけど、急に言われて質問せよと言ってもどんな質問してもいいかわからなかったという話もあったんで、そういうテーマのほうの話は、今回はテーマを決めてやったほうが本当は人が出てくれるんじゃないかということいろいろテーマを

決めてやってた形のことなんです、その辺のテーマを決めるかどうかということも一応問題になってくると思うんだけどね。要は出てくれる人に前もって意見を出してもらうのか、こっちからこういうテーマでやるのかという問題も考えていかなくてはいかんような内容にはなると思うんですね。それも次回の、今回こうやってやったけど、次回はこんなふうなやり方でやってみるとか、そういう形で考えてもらうということでもいいですかね。竹内委員。

○竹内委員 議会報告会にずっと続けて来てくださる方から、今回のアンケートでも初めて来てすごくよかったと言われる意見から、いろいろありました。やはり各委員会もすごい工夫を凝らして、パワーポイントで皆さんに内容が伝わりやすくするために工夫してまして、それぞれのアンケート結果見てみると、あそこの委員会の報告よかったか書かれてましたので、私たちもすごくレベルアップしてきてると思うんですね。だから焦らずに、いろんなことを地道に努力していくしかないかなと思ってます。要はこの報告会で来てくださった方に私たちの活動が理解していただければそれが一番口コミにつながっていくと思うもんですから、やはりたゆまぬ努力を続けるしかないかなと思ってます。

○中村分科会長 それともう一つ、今回はまたいろんな問題を所管で分けていろいろ話をしたんですが、その辺については皆さんそんな異論はないと思うんだけど、そういうやり方でこれからも行ったほうがいいのかどうかという話。当然、所管しかないもんで、そういう話でいいと思うんだけど、そうするとそういうふうに3人とか何か言ってもやはり所管の担当のことについては所管の所属の人間が答えるというような形のことを考えて基本的にやっていると、そういうスタイルでいいですかねという話なんです。そう行かざるを得んけど。それはそれでいいですね、それじゃあ。所管でやっていると。

それともう一つ、自分としてやってみて、まとめの中でわかったんだけど、4月改選があって、期間がこしかないということでだだっど進んできてやってみた結果、それでいろんな答える場合において議会としての考え方が持っていないと、市の報告というか、形になってしまうもんで、その辺のことはやはり議会として、まあ委員会なりなんなりでそれぞれの考え方を持っていたほうがいろんなことは説明もできるし、その辺の議会としての答えと行政のこととまざっていろいろ報告、このまとめなんか見ると、やってる内容がある程度まとめの段階でわかってきたんだけど。そこら辺も今までは全然そういったことがこういうふうにみんなでもんでるわけじゃないもんで、過ごしてきたんだけど、答えるにはやはり議会としての答え方が何かこれからは必要になってくるんじゃないかなと私は思ったんですね、これでは。行政のやってることを代弁するなら、そういうことは聞いてるよという話しかなくなってきてしまう。それで議会としてはどういうふうな考え方を持ってるかというのをやはり何か市民もある程度は聞きたいという部分もあるのかなというふうに思ったんですね、実際は。その辺は何か。といってもすぐできるわけではないけど、いろいろ委員会ではこうだけど、議会としてどうだという話も出てくるような形にもなるんだけど、そこまでかたく考えんでもいいのかどうかという、そういう部分がちょっと自分は報告をまとめる中では実際に、これからとして受け答えをする中、またこの議事録をまとめるものも結局書記を中心のことしかまとめてないもんで、そういうのがちょっと自分としてはこれから何か考えていかなくてはいかんかなと、自分では思ったんですね。その辺はどうですかね。議会としてどうだと聞かれた場合に、どういうふうに。

○島田委員 そこまで難しく考えんでもいいと思います。そんな難しく考えれば、幾ら頭いい人でも頭の中飛んじゃうよ。そっちはそっち、こっちはこっちで、もうそういうやり方のほうがいいと思いますよ。それで、じゃあ誰かが言ったからと議会議を責められるじゃなくて、議会の報告としてやってるだもんで、それでいいと思いますけど。そこまでやっちゃうと、何かなっちゃう。

○中村分科会長 どう思うかという話だけど、豊田委員。

○豊田委員 やはり議会報告会でやる以上、議会としての見解を述べましょうというのは我々の共通認識の中にあつたわけですね。議会としてなかなかまとめきれないから、せめて委員会単位としては共通認識を持って対応していきましょうというのがその前、下の段階にあつたわけですね。だからまず、いざやってみたら委員会として共通認識を

持ってた用意した事項に対しての質問というのはほとんどなかったなど。思いのほかの方向から質問が飛んできて、あたふたしたのが現実ですけども。やはり委員会として意見をまとめていきたいと思いますという作業をする中で、さっきもどなたか指摘があったように、その問題に対する認識も深めることができましたし、我々としては非常にいい経験をさせてもらってるなと思ってますので、先ほど島田委員があったような形でない、全てが全て議会としての統一見解を出さなくてはいけないというふうに考えてしまうと何も答えられなくなりますし、議会そのものの存在意義が、いわゆる個々の18人があって議会ですから、それを共通見解だけとしたら、本当に当たりさわりのない言葉しか出せなくなってきましたんで、分科会長の懸念されるようなところまでの準備というのは、正直難しいのではないかな。その段階ででき得る最善の努力を積み重ねていくことによって、我々自身のノウハウの積み重ねにもなり、また経験の蓄積になっていく部分であろうと思います。

実はせんだって、田原の報告書を読ませていただいたり、それからほかの市がしてる内容を読ませてもらうと、行政に対する要望ばかりのところもあるんですね。湖西の場合、今回比較的、行政に対する要望もありましたけども、もっと根本的な部分での質問がたくさん出たなという印象で、非常に皆さん、3回目ではありますけども、経験を積んできてくださったのかなというような印象を持っています。ですから、これをやはり繰り返していくことによって、お互い、我々もそうですし、こういう場に出てきてくださる方のほうも経験を積んで、いい関係が築いていけるのではないかなと思いますので、余りかたく規制しないで、フレキシブルに我々も勉強していくというスタンスで行かせてもらえたらありがたいなと思ってますけど。

○中村分科会長 島田委員。

○島田委員 今度20日、21日と視察行くだよね。このために行くだもんで、それからまた反省をすればいいと思いますよ。そこどういふふうになってるかも。きょうでなくてもね。僕はそう思いますけどね。なので勉強行ってきて、どう感じたか、皆さん違うと思うんだね、それぞれ。なのでせっかく視察行くだったらその後にもう一回やれば、どうしたらいいかは。そのほうがいいと思いますけどね。

○中村分科会長 わかりました。時間的にも1時間たちますので、まとめる方向にも行かなくてはいかんと思うんですが、今出た部分で、いずれにしても続けるということだけは確認はできたと思いますが、やり方は今までやってきたのを反省してもう一回改めて新しい方法を考えていってやってもらうということでもいいでしょうかね、形としては、それぞれの。提言として我々はこういうふうな形でやってみただけど、次の人は次のやり方としてこういうふうにするという形でやってもらうという形の方向性にしたいと思うんですが。

そういうことで話としては方向性が見えたような見えんような。具体的にはこれというものがないようにも自分自身では思うんだけど、いずれにしても続けていくということで、それでいろいろやっていく中で自分らも報告するための勉強をしたり、いろんな人の話を聞いたりして、もっと議会の広報・公聴をうまくやっていくというような感じで進んでいってもらいたいというふうに思います。そんなことでどうでしょうか。

そんな形の話で一応はあるんですが、皆さんのほうから何かこういうふうな提案とか何かありますでしょうか。島田委員。

○島田委員 これは1年かね。1年だよね、とりあえず。それでこっちはなくなるだよね、議会基本条例なんかできたもんで、特別委員会も1年だら。違うだか。おらは分科会だ、こっちの分科会じゃん。それをちょっと聞きたいなと思って。これ2年も続くの。どういうふうになっておるだね、決まりとして。

○中村分科会長 それでは休憩とります。15分まで。

午前11時04分 休憩

午前11時14分 再開

○中村分科会長 それでは時間となったもんですから、一応再開をしたいと思います。

いろいろ皆さんのほうから意見が出て、それぞれ反省の弁がありました。その中で、これから20、21とまだ先進地のほうへ一応視察に行くもんですから、その中でも今出た内容でいろいろまた勉強してくる要素がありますので、そういう形で一回引いてみて、これからその後でもう一回まとめるという方法もあるかなというふうには思います。牧野委員がちょっと見えてるもので、一応は議会報告会の皆さん反省ということで意見を聞いているもんですから、ひとつお願いしたいと思うんですが、報告会やってみてどうだったかって。一応どんなふうな感想を持たれてるかという話で。

○**牧野副分科会長** 感想を言えということで。私はもうちょっと人が集まったほうがいいなと思う。人の集まりが少ないなというのが第一印象です。それと何か焦点がちょっとというような気がいたします。そんな感じです。以上です。

○**中村分科会長** という感想だそうです。それで会場の問題、報告会の内容等を今皆さんのほうから意見を出してもらって、一応内容的には大きな会場で2会場ぐらい報告会をやって、あとそのほかでは座談会方式で一応話を聞くような形のものをもったらどうかということが、皆さんから出されております。

それで、そういう方向で我々は一応提言をしていきたいというふうな、提言というのか、一応こういう意見があったという方向で行きたいなというふうに考えております。島田委員。

○**島田委員** それはまだじゃないですかね。その20日、21日と行ってからやればいいことじゃないかね。せっかく視察行くだもんで。今の分科会長言われたのは、もちろん意見だけど、その後にもう一回やったほうがいいじゃないですかね。

〔不規則発言あり〕

○**島田委員** それは意見だ。みんなの意見でいいけど、20日、21日とせっかくあるもんで、その後で。

○**中村分科会長** という意見が出ました。それも一理あるなというふうに思いますが、皆さんはそんな方向でいいでしょうか、それじゃあ。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○**中村分科会長** ではそんな形で、それぞれきょう出たような意見をもとにも、先進地の意見を参考にして、視察終わってからもう一回反省会を持ちたいと思いますので、ひとつよろしくお願いします。

そうすると報告会の反省終わって、その他ということで今度は20、21に視察に行くことの件について、事務局のほうからお願いします。

○**事務局** それでは事務局ですけど、視察の関係の資料ですね、終わった後、切符とかございますので、終了した後にその資料と切符をお分けしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○**中村分科会長** では終わります。

○**牧野副分科会長** 以上をもちまして、広報・公聴分科会を終わりたいと思います。ありがとうございました。

〔午前11時19分 閉会〕

湖西市議会委員会条例第28条第1項の規定により署名する。

委員長 馬場 衛